



昭和44年 6月16日 第210号 (毎月1回発行) 編集と発行 館山市秘書課 館山市北条1,145の1番地

5月分人口の動き
総人口 56,098人
男 26,930人 女 29,168人
世帯数 16,388世帯
出生 62人 (男29・女33)
死亡 50人 (男19・女31)
転入 323人 (男191・女132)
転出 343人 (男182・女161)

7月の納税は (7月31日まで)
固定資産税 2期の納期
都市計画税
都道府県
納めやすい納税組合に入りました



健康は歩くことから

歩け歩け大会

北条棧橋と沖の島往復 五百数十人が参加

体力づくり歩 約五百人が参加、終始なごう運動大会 四月から新設された館山市教育委員会、保健体育課と千葉県教育委員会の共催で、五月十日の日に北条棧橋から沖の島往復の歩行大会が行なわれ、約五百数十人が参加した。この日は朝のうらみ雲が広がっていましたが、次第に晴れてすばらしい大会日和となりました。午前九時に出発の北条棧橋には、リニエック

南長須賀青年館の館長矢野光さん、毎朝長須賀の自宅から城山まで、歩行運動を実行。一万歩は、北条棧橋から沖の島まで、大人の普通の足で約六キロ一万歩とわかりました。OKとなりました。本間市長を先頭にゆくりりした足どりで出発、折り返し点沖の島をめぐらした五百人の行列の行進が始まりました。折り返し点沖

足よ、こんなに歩くのはしばらくぶりだった。心臓も内臓すべてが君に協力して 汗ばんでいる。新鮮な血液が 体中をめぐる 頭の中まで すがすがしい風が 吹き込むようだ。今日はまた思いがけないよい日和じゃないか。みたまえ 八十三才の人から 保育園の子どもまで ながやかに歩いている 空をおおき 対岸にかすむ山並をみている 海の幸豊かな鏡ガ浦が 青く輝くひろがり めざす沖の島が 行きかう舟と浮ぶ。これがわたくしたちの 住む街館山だ。体の中にもりもりと なにかが湧いてきたぞ。元気が出てきた。あわい感傷といりまじり 新たな希望が湧いてくる。すばらしいことだ。歩け歩け 足には負担だらうが それは君の役目さ。君自身が丈夫になるのだから 体中を丈夫にするのだから ところまで

の島で昼食、磯遊びなど楽しみ、再び歩け歩けで途中、竿釣工場を見学、出迎えた佐久間庄一社長は市の教育委員をしていり、汗をふきゆつくり休んでくださいと、歓迎の挨拶があり、親切に工場内を説明してくださいました。みなでお礼をのべた歩け歩け北条棧橋へ着いたのが午後四時全員が無事に、なごやかに歩き終りました。 今後ますますひろげてい

市民ごぞつて イッチニイッチ サン 市民体操をやりましょう

体づくりの献立をとも とに普及につとめます。一、健康体操、長寿体操 婦人体操、親子体操と皆さんの体力年令に合わせ



親子体操は楽しく可愛い

た体操をとりそろえまし た。老化しつづめる細胞を若返らせるため、みんなそろって、イチツニイッサン。二、市民体操は、ストレッチ解消に役立ちます。イライラ、ジリジリ、ブツブツは、文明社会のもたらす産物です。体操で気分爽快、仕事の能率をあげたいのです。三、青年館山市の象徴は

愛のたより 働く青少年に激励を
館山市青少年問題協議会(会長本間市長)が昨年からの開始した県外で働く青少年に激励の手紙を出す運動を今年も引き続き実施することになりました。
館山市を離れて働いている青少年に、この運動期間を機会にせよ激励の手紙を出して頂きたいと存じます。市の総ハガキがありまますので事務局(市福祉事務所青少年係)までご連絡ください。

青少年の豊かな心と健康な身体づくり
あすの郷土日本を背負う青少年の健全な育成を強く願う本年度の基本方針、実践目標を決める館山市青少年問題協議会が去る五月九日開催された要次のとおり決定されました。
一、心づくりの運動
(1)国旗掲揚運動 (2)館山市を明るくよくする運動 (3)善行奨励運動 (4)ふるさとから愛のたより運動 (5)「家庭の日」普及運動 (6)「青年の日」普及運動
(7)スポーツ少年団の結成と育成運動 (8)子供会育成運動と組織化をすすめる (9)スポーツクラブの育成 (10)働く青少年クラブの結成と育成 (11)開田をつ

六月の天候予想
止旬はひきつづき梅雨前線活動が活発で曇雨天の田が多く、冷涼な天候となりましよう。
中旬は小立原高気圧が強まってつゆのあけの日は半ばの現れ込みです。前半は曇り時々雨、後半は曇り時々雨となりましよう。
下旬はだいたい晴天が期待されますが、一時梅雨前線が南下して涼しい日もありましよう。

